

長野労働局発表 (29-47)  
平成 29 年 10 月 20 日

担 当	長野労働局雇用環境・均等室		
	雇用環境改善・均等推進監理官	森	孝行
	室長補佐	小林	みや子
	助成金係長	吉田	佳奈代
	電話	026-223-0560	

## 業務改善助成金の活用により、従業員の賃金を引き上げた事例を紹介します（平成 29 年度第 2 四半期）

長野労働局では、平成 28 年度、労働能率増進のための設備投資等について業務改善計画を作成・実施するとともに、事業場内で最も低い時間給を 30 円以上引き上げた 15 の事業主に対し、業務改善助成金を支給しました。

そのうち平成 29 年度第 2 四半期に賃金引上げ後の状況について報告を受けた 7 の事例について、別紙のとおりご紹介します。

### 【(参考) 業務改善助成金】

#### 【平成 29 年度における支給要件】

- ・労働能率増進のための設備投資等について、業務改善計画を作成し、これを実施します。
- ・事業場内の最低賃金を一定額以上引き上げる計画を作成し、これを実施します。

#### 【支給額】

- ・引上げ前の事業場内最低賃金額と事業場内最低賃金の引上げ額によって 5 つのコースから選択できます。

引上げ前の事業場内最低賃金	引上げ額	助成率	支給上限額
750 円未満	30 円以上	現在長野県の最低賃金は 770 円のため該当なし	
800 円未満	40 円以上	7/10 <sup>※</sup> (常時使用する労働者数が企業全体で 30 人以下の事業場は 3/4)  ※生産性要件を満たした場合は 3/4 (常時使用する労働者数が企業全体で 30 人以下の事業場は 4/5)	70 万円
1,000 円未満	60 円以上		100 万円
800 円以上	90 円以上		150 万円
1,000 円未満	120 円以上		200 万円

(別紙) 平成 29 年度第 2 四半期に報告を受けた業務改善助成金活用事例

## 平成29年度第2四半期に報告を受けた業務改善助成金活用事例

No.	業種	事業場名	所在地	活用内容
1	学術研究、専門・技術サービス業	横前社会保険労務士事務所 横前 勇	箕輪町	電子申請システムの導入により、事務作業や役所への外出に要する時間と労力を減らすことができ、業務効率が改善した。 また、在老シミュレーションソフトの導入により、在職老齢年金と高年齢継続給付金の計算時間を短縮することができた。
2	サービス業 (他に分類されないもの)	有限会社エンジニアリングウッド	佐久市	従来から使用している機械の約10倍の処理能力を有するタブグラインダーを1台増設することにより、1時間当たりの処理量が増え業務効率が改善した。 また、機械のメンテナンスに要する時間を短縮することができた。
3	製造業	日精技研株式会社	駒ヶ根市	卓上サーマルプリンターの導入により、包材単体への印刷枚数能力が向上し、社内別部門での委託費等を削減することができた。 また、従来の印刷作業工数は、生産への人員配置が可能となり、業務効率が改善した。
4	サービス業 (他に分類されないもの)	富士見町自動車業協同組合	富士見町	自動昇降する据置型リフトの導入により、従来のジャッキ式による作業労力・作業時間を減らすことができ、業務効率が改善した。 また、膝をつくなどの作業姿勢の問題を改善することができた。
5	学術研究、専門・技術サービス業	きらら動物クリニック 加藤 澄恵	佐久市	温度・酸素濃度・湿度調節管理機能を有する高度管理医療器の導入により、スタッフが動物に常時付き添う必要がなくなり、ウェブカメラで遠隔監視できるようになったことにより、業務効率が改善した。
6	農業、林業	伊那林業株式会社	伊那市	自走式搬器の導入により、従来の集材機利用と比較し、集材・荷外し・造材に要する時間と労力を大幅に減らすことができ、業務効率が改善した。 また、自走式搬器は機械から離れた安全な場所で送信機により操作できるため安全性が向上した。
7	情報通信業 (映像・音声・文字情報制作に附帯するサービス業)	株式会社アサマ・ビジュアル・マスター	佐久市	最新機種の高品質映像に対応した写真ビデオカメラ等の映像撮影機材を増設することにより、外注比率を下げることができ、付加価値の高い高額商品を販売できるようになった。